



絆 きずな

平成25年9月
第33号
荒川区立南千住第二中学校
校長 齊藤 進

Change、そして、Chanceへ

校長 齊藤 進



夏休みは、補充学習、部活動、プールなど充実した日々となったことと思います。毎日、生徒の皆さんが一生懸命にそうした活動に取り組む姿を見ることができました。私自身、この夏休みは、若い頃の教員時代にもどることをテーマにしました。バレー部の活動に参加し、昔の指導法を思い出しながら汗を流させてもらいました。しった激励しながら、部員が懸命にボールを追う姿には感銘を受けました。バレー部の顧問の先生や部員の皆さんにはこのような機会を与えていただいたことに感謝します。

さて、生徒の皆さんは、勉強をしても分からないとか成績が伸びない、と思ったり、部活動で技術が上達しない、などと思ったことや日々の生活の中でこんなことできない、と思ったことはないでしょうか。そこで、Change と Chance について考えてみたいと思います。Change と Chance は1文字しか違いがありません。勉強や部活にいくら取り組んでも自分には無理、と思う気持ちをまず、Change すること。そうすると必ず Chance がやってきます。人は誰もマイナスのことを考えるとすべてマイナスの行動を知らず知らずのうちに選択します。そうではなく、やればできる、と思うと自然にプラスの行動を選択します。この違いは大きいのです。考え方を少し変えるだけで自分を成長させる Chance に恵まれます。例えば、人との出会いがあります。プラス思考の人には素晴らしい人と出会う Chance が必ずあります。その人が自分を素晴らしい方向へ導いてくれる可能性があります。そして何より前向きな素晴らしい自分に出会える Chance があると思いませんか。

2学期は様々な学校行事などがあります。3年生は自己の進路を考える重要な時です。ぜひ、自分ではできないという心を Change しましょう。Chance がやってくることを信じましょう。そんな2学期になることを期待します。

防災宿泊訓練では地域、PTA、関係機関各位には多大なご協力をいただきました。ありがとうございました。

誕生！ 中学生マイスター ～ 南千住検定 ～



平成25年7月18日(木)、1学期終業式前日に第二回南千住検定が実施されました。今回の検定は一般からの受検者は募らず、南千住二中の生徒限定で行われました。7月13日(土)には検定に向けて校長先生による検定講座 検定本を手に耳を傾けるの講座が、校長先生を講師に行われました。どの生徒も検定本を手に熱心に講座に聞き入りました。その成果もあり、南千住検定2回目にして、中学生マイスターが3名も誕生しました。マイスターは100問の検定問題で98点以上の成績の人に与えられる超難関です。3人はみごとその難関を突破しました。100点満点をとったのが3年1組男子1名、そして98点が2年生の男子2名です。おめでとうございます。3人はこれから、地域の歴史を語り、伝える人としてさらに活躍してほしいと思います。

また、1級から3級の取得者も多数ありました。1級取得者は3年生4名、2年生4名、1年生1名、2級3年生10名、2年生5名、1年生4名、3級3年生4名、2年生14名、1年生11名です。歴史を語る南二中生として誇らしい限りです。2年生の級取得者+有志は、9月8日(日)に行われる「わくわくまちあるき探検隊」にボランティアガイドとして参加する予定です。

なお、一般も受検できる第三回南千住検定は、改訂した検定本(16ページ増)をもとに、11月9日(土)に実施予定です。また、一般も受講できる検定講座は10月19日(土)に実施いたします。詳しいことは本校ホームページ、チラシ等をご参照ください。

2年生

勤労留学

夏休みを目前に控えた7月8日(月)から12日(金)までの1週間は、2年生の勤労留学でした。近隣を中心とした約30カ所の事業所をお願いして、

職業・職場の体験をさせていただきました。事業所は保育園、ふれあい館やスーパーマーケット、飲食店、本屋さん、病院など、多岐にわたりました。それぞれの希望によって振り分けられ、1週間の体験に臨みました。仕



ガソリンスタンド

事を体験すると、思っていた以上に大変で、社会的な責任も大きいことに気づきました。しかし、同時に仕事のやりがいや楽しさも体験することができました。1週間体験の場を与えてくださった事業所の皆さん、ありがとうございました。

体験のようすや内容は、パソコンでレポートにまとめ、霜月祭(本校文化祭)で発表する予定です。



造園業

レスキュー部

防災宿泊訓練



高齢者の避難誘導 TVカメラも狙う

などを利用した傷病者の搬送訓練、さらに停電した暗闇の中の校内巡回などを行いました。

特に高齢者誘導では、「絆ネットワーク」でつながれた高齢者のお宅に実際に伺い、避難所の学校まで案内しました。また、炊き出し訓練では、昨年度も行ったハイゼックス(炊飯用袋)を用いた“かまど”での炊き出しに加え、お湯や水だけでできるアルファ米を使っ

ての訓練も行いました。今年度のレスキュー部員の参加者は55名。たくさんの経験と減災に取り組む意識を高めた2日間になりました。

昨年度から始められた、レスキュー部による「防災宿泊訓練」が、今年度も夏休み中の8月23日(金)から24日(土)にかけての一泊二日で行われました。各方面から大変注目を集めているこの取り組みは、昨年度の反省も活かし、より現実味を増し、災害時にどんなことができるか検証しました。

訓練では、避難所設置訓練、安否カードの記入と設置、高齢者の避難誘導、炊き出し訓練、消防署の方の協力を得

ての災害救助法、救急救命法、毛布な



ハイゼックスによる炊き出し



JRC活動

三首都交流&トレセン

夏休み中にはJRCの活動も行われました。まずは7月22日(月)から27日(土)までに行われた「三首都交流」

です。三首都とは、東京、ソウル、北京のことで、それぞれの都市のJRCに加盟している中学生が一堂に会し交流します。今年是中国・北京で行われ、南千住二中からは東京代表として、2年生の3人(男子2名 女子1名)が参加しました。同年代の生徒との国際交流は、多くの成果を上げることができました。



区トレセン 応急処置法

トレセンは荒川三中で、都内・区内加盟各校の代表が寝食を共にし、JRC活動のリーダーとしての研修を受けました。こちらも多く

つづいて、8月11日(日)~14日(水)に東京都の、そして8月17日(土)~18日(日)に荒川区の「リーダシップトレーニングセンター」(通称トレセン)が行われました。南千住二中からは2年生男子2名が荒川区代表、また、南千住二中の代表として参加しました。

東京都トレセンは富士山山麓の富士緑の休暇村で、荒川区



三首都交流 万里の長城で参加者と

部活動の活躍

陸上競技部 快拳!

陸上競技部 砲丸投げで、東京都ベスト8に入る快拳を達成しました。全日本通信陸上競技東京都大会 記録・10m61 8位入賞

吹奏楽部

東京都中学校吹奏楽コンクール B組 銀賞

バレーボール部

【男子】東京都夏季選手権大会出場 兼 総合体育大会 2回戦進出

荒川五中との合同チームで都大会に出場。関東大会出場まであと一步に迫る大健闘でした。

ソフトテニス部

【男子】東京都夏季選手権大会出場 兼 総合体育大会 男子団体出場

【女子】東京都夏季選手権大会出場 兼 総合体育大会 女子個人出場

パソコン部

地域紹介動画「ナンちゃん和ニーくんの南千住探検(素盞雄神社編)」完成 本校ホームページにアップします。是非ご覧ください。

南千住マイスターのコーナー

「百妖箱」? いったいそれは何なのでしょう。南千住には古くから伝わる妖怪がたくさんいます。これまでも「片目の大鯉鯉」や「千住大橋の大亀」を紹介してきました。他にも数々の妖怪の伝承があります。妖怪という、怖い、とか不気味だとかのイメージがあるかもしれませんが、実は幽霊とは違い、ちよつとかわいいうるキャラクターだったりします。妖怪は地域の小さな歴史を伝えるメッセージングでもありますが、NPO法人「南千住すみだ川」では、新たな妖怪探しをしています。この地域との関係に注目してみると、いろいろな妖怪が私たちの周りにいるかもしれません。たとえば埋め立てられた池の記憶や渡し船の記憶、再開発の記憶などから生まれる妖怪が潜んでいるかも...。君ももし、何となくおかしいな、何の音だろう、あそこになんか何かがいそつ、などと思ったら、その感じを書いて「百妖箱」つまり「妖怪発見ポスト」に入れてほしいのです。もしかするとそれが百年先まで、地域に住む多くの人々に語り継がれる妖怪となるかもしれないのです。「百妖箱」は、南千住二中一階ホール受付に設置されます。また、南千住の町のとどこかに必ず設置されています。見つけたら、是非自分の妖怪を書いて(絵でも文章でも)入れてみてください。この取り組みに協力していただく妖怪研究者、妖怪造形家の方の手で、リアルな妖怪が誕生するかもしれません。このコーナーでは、今後もいろいろな妖怪を紹介してまいります。

すみだ川妖怪絵巻 その3 『百妖箱』 君も妖怪を探そう



協力; NPO法人 千住すみだ川